

1. あ主 2. 主 3. な 4. な
めよのみ
つな ちれ つは ー くて ら れき しが ちほ ちろ
しだ うた りた ー の か い は さ がり

なぼやて
るさくそ
かるきの
みまよ日
はできは
みちほか
子ちせぞ
ー ー ー
ー ー ー
キのきえ
リみのが

スギみた
トにやき
ー ー か
に座こみ
ぞすにの
かよみ子
たうやら
りりなは
たのるう
ま主なま
いなれ
ぬりがて

「わちまと
れちしこ
ががまし
なみしえ
がちたに
てかまは
きらえる
ををやの



彼は御子であられたにもかかわらず、さまさまの苦しみによって従順を学び、そして、全き者とされたので、彼に従順であるすべての人に対して、永遠の救の源となり、神によって、メルキゼデクに等しい大祭司と、となえられたのである。
ヘブル 5:8-10
このような大祭司がわたしたちのためにおられ、天にあって大能者の御座の右に座し、人間によらず主によって設けられた真の幕屋なる聖所で仕えておられる、ということである。
ヘブル 8:1, 2

5

父なる御神の ^{みかみ} ^{かた} 語りしごとく
なれこそわれらの ^{だいさいし} 大祭司なり
平和の君なる ^{きみ} ^{おう} われらの王なり
なれこそわれらの 救い主なり。

6

御神を愛する ^{しもべ} 僕らのため
なれは血潮もて ^{ちしお} ^{つね} ^{みちち} 常に御父に
とりなしたまわん。 愛する主イエスよ
なれこそわれらの 大祭司なり。

7

いつしか誇れる ^{ほこ} ^{かしら} 頭くだかれ
主の王の冠 ^{かむり} ^{たいよう} 太陽のごとく
^{ひか} ^{かがや} ^{たみ} ^{とわ} 光り輝かん。 主の民は永久に
^{つか} 喜び輝き 御神に仕えん。